



新宿区

『新宿力』で創造する  
やすらぎとにぎわいのまち新宿

平成30年第1回区議会定例会  
新宿区長定例記者会見資料  
平成30年2月9日(金)

事業名	東京オリンピック・パラリンピック気運醸成(普及啓発)	予算(案)の概要 145 ページ
予算額	11,995千円 (拡充) (前年度予算額 18,843千円)	
取材先	東京オリンピック・パラリンピック開催等担当部 東京オリンピック・パラリンピック開催等担当課長 浅野 (電話 03-5273-4235)	

## 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催まで2年

新宿区は新国立競技場が位置する自治体として、東京2020大会開催とその後を見据えた取組みを進めています。

東京2020大会が、区民が生涯忘れられない大会となるよう、また、次世代に記憶と感動が継承できるよう、大会開催に向けた更なる気運醸成・普及啓発を図っていきます。

### 【東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えた取組み】

- ・東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた普及啓発(本ページ掲載)
- ・スポーツコミュニティの推進(次ページ掲載)
- ・スポーツ施設整備基金(次ページ掲載) など

全 40 事業

上記全40事業の一覧は、予算(案)の概要24、25ページを参照。

## 東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた普及啓発

### 新宿区東京2020大会区民協議会の運営 (予算額 1,562千円)

平成29年度に設置した「新宿区東京2020大会区民協議会」では、第2回協議会において、各関係団体における東京2020大会に向けた取組について議論しました。

平成30年度は、東京2020大会に向けて関係団体と一丸となって気運醸成に取組んでいくため、具体的な普及啓発の取組について議論していきます。



新宿区東京2020大会区民協議会

### 東京2020大会開催777日前イベント/500日前イベント

(予算額 8,806千円)

東京2020大会において新国立競技場を会場として行われる競技種目をはじめとした体験イベントと、オリンピック・パラリンピアンによる講演会などを実施します。

体験イベントでは、著名アスリートによる体験教室のほか、最新技術を用いた近未来的なボッチャ体験ブースやパラリンピック陸上競技で使用する競技用車椅子(レーサー)を最新のVR(バーチャルリアリティ)技術で体験できるコーナーなど、参加者の記憶に残る、ほかにはない体験を提供します。

講演会では、オリンピック・パラリンピアンのほか、これまでの大会の取材経験があるメディア関係者をお招きし、大会開催地ならではのオリンピック・パラリンピックの楽しみ方や参加のしかたをレクチャーします。

東京2020大会開催777日前イベント

①開催日：平成30年6月9日(土)

②会場：牛込筆筒区民ホール  
区立愛日小学校



サッカー教室



講演会

東京2020大会開催500日前イベント

①開催日：平成31年3月3日(日)

②会場：角筈区民ホール  
区立西新宿小学校



デジタル技術を用いたボッチャ体験



デジタル技術を用いた競技用車椅子体験

### 普及啓発イベント

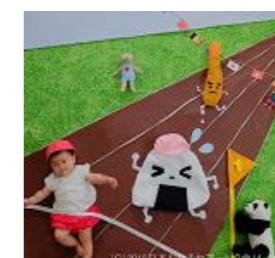
(予算額 1,627千円)

各地域センターまつり、若者のつどい、はたちのつどいなどのイベントにおいて、トリックアートやおひるねアートなどの参加型のコンテンツを展開し、あらゆる世代の方が東京2020大会が待ちどおしくなるような体験を提供します。

また、それらのフォトブースで撮影した画像を、区内14カ所のデイカウンターで放映し、東京2020大会へのワクワク感や期待感を高めていきます。



フォトブース



資料提供 おひるねアート協会



本庁舎デイカウンター